

BOOKS 4月

町図書館 ☎ 33-0215

休館日/4月4日(月)、11日(月)、18日(月)
25日(月)、28日(木)

おすすめの本

「はじめての」

島本理生 他／著 水鈴社

テーマは「はじめて〇〇したとき」に読む物語。島本理生、辻村深月、宮部みゆき、森絵都の4人の直木賞作家と、小説を音楽にする「ユニット・Y O A S O B I」のコラボレーションからうまれたアンソロジー。

「繭の季節が始まる」

福田 和代／著 光文社

ウイルスに対抗する為、強制的な巣ごもり＝繭が日常となった。しかし、外出禁止令下の街で、今日もなぜか事件が発生し―非接触の世界で起こる事件に、警察官アキオと猫警察ロボの咲良が迫る！

「一冊でわかる鎌倉時代」

大石 学／監修 河出書房新社

鎌倉時代とはいったいどんな時代だったのか？初の武家政権の歩みを、同時代の世界情勢も含め、図表やイラストを交えてわかりやすく解説。

「新しいあいさつ・スピーチ文例集」

すぴーち工房／著 法研

「中止していたイベントを復活させよう」などコロナにふれたものをはじめ、冠婚葬祭からビジネスシーン、学校・諸行事まで「あいさつ・スピーチ」をまとめた文例集。広く一般的に使える文例を収録。

「君色パレット 多様性をみつめるショートストーリー」

戸森 くる／著 岩崎書店

クラスの気になる同級生、いつもと何か違う家族、ノートに返事を書いてくれる誰か、おしゃれなあの子。多様性をテーマに「ちょっと気になる人」を描く、4つのショートストーリー。

「おてがみほしいぞ」

こつまる みづほ／作 あかね書房

郵便屋のヤギが配っている手紙をもらった動物たちは大喜び。それを見たオオカミのギロンは手紙が欲しくてたまらなくなり…心あたたまるお話。

「大ピンチずかん」

鈴木 のりたけ／作 小学館

ガムを飲んだ！トイレの紙がない！こどもが出あう世の中の様々な「大ピンチ」をときあかし、対処法をユーモアたっぷりに紹介。

「明日香さんは負けない」

おはなしSDGs 人や国の不平等をなくそう

福田 隆浩／著 講談社

大好きなお兄ちゃんの婚約者、明日香さんは車椅子に乗っている。「笑顔が素敵なお兄ちゃんだけ…」とつい思ってしまった奈美だが、明日香さんが取り組む「障がい者アート支援」や「ジョブコーチ」などの仕事を知っていく。

★行事・お知らせ(図書館)

●雑誌・図書のリサイクル

図書館で保存期限の切れた雑誌などを皆さまに再利用していただきたく、無料配布します。

欲しい本がありましたら、ご自由にお持ち帰りください。

混雑時には間隔をあけてお選びください。

期間：5月3日(火)～5月

8日(日)

時間：9時～17時

場所：町民会館 展示室

文字とふれあい、心を豊かに



3月3日(木)に公益財団法人だいしん緑化文化振興財団(大垣市)より町図書館に対し、児童用図書39冊を寄贈していただきました。同財団からは過去にも図書のための寄附をいただいております。昨年の12月には花の寄附もいただきました。

栗田順公理事長は「読書離れが進んでいるように感じられますが、図書に触れ、文字に親しむことで、心が豊かになり、人間としての成長へと繋がっていくと思います。それを願って子ども読書週間に合わせて寄贈しました」と話しました。

寄贈された本は、子どもたちの豊かな心を育むために、町図書館にて貸し出しいたしますので、ぜひご利用ください。